瑠璃草

第77巻　第1号
年4回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田3-15-2
TEL 03―3387―5567
http://www.jiseikai.jp
振替口座　ベタニアの家
00170－6－15317

出会い

シスター・松本　圭世

「主イエス様のご降誕と新年のお祝詞を申し上げます」

昨年中皆さまからいただきましたご支援ご指導に心から御礼申し上げます。

慈生会は昨年十二月五日に「乳児院ナザレットの家・児童養護施設ベトレヘム学園」の「祝別・落成式」を終え、クリスマス前に児童も新しい住居に入ることができました。この建築の為にご支援をいただきました皆様方に心から御礼を申し上げますと共に今後とも見守りとご支援をお願い申し上げます。

新年度、那須のマ・メゾン光星は新たな事業を始めることになりました。児童福祉法に基づく事業で、主に六歳から十八歳の障がいを持つ就学児童・生徒が学校の授業終了後や長期休暇などに通う「放課後等デイサービス」という事業所です。那須町の事業である、日中一時支援事業（障がい者総合支援法に基づいた地域支援事業）も併設します。

この新事業は那須町から依頼を受け検討を重ねておりましたが、那須塩原市に隣接する那須町高久地区に必要な土地、建物（国道四号線に近接、約千坪）に出会い、「神様が用意してくださった」としか思えないような経過で入手することができました。土地、建物との出会いの不思議さを体験しましたが、駐車場も同様な経過で向かい側の場所に準備ができ、皆が新たな活動への意欲と共に開設に向かっています。「エスポワール」（希望）という名前で開設されます。利用される方々に良いサービス提供ができるように願いながら…。

昨年ベタニア修道女会は設立認可八十周年を迎えましたが、創立の原点、創立者の言葉などを振り返り、改めて偉大な創立者であったことを思います。ある日、ある時、「人との出会い」「言葉との出会い」によって新たな人生が展開されることは多くの人が体験していることでありますが結核療養所訪問を始めた創立者が病める患者に出会って始めた事業が「慈生会」の始まりです。心を動かす「出会い」、人を見捨てるわけにはいかない…というフロジャク神父の心が原点でした。「苦しむキリスト」「病んでいるキリスト」に出会った神父は「気の毒な病者たち…大部分の者は帰るに家なく身をおくところもない。何人もの患者が自殺によってこの難問の解決を計った。不幸な彼らの為に、あたたかいホームがどうしても必要なのだ。彼らの不幸が私を駆り立てる」と。一軒の家が神父の努力によって借りられ、仮の施設となりベタニアの事業の始まりになったのでした。フロジャク神父は好んで次の聖書の個所を使っております。「はっきり言っておく、私の兄弟であるこの最も小さな者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである」（マタイ二十五章四十節）。困難な神父の事業の草創期を支えた「ロゼッタ姉妹会」が現在のベタニア修道女会の前身です。

亡くなられた彫刻家の松谷謙司氏は少年の日に体験した神父の暖かい一撃（松谷氏の頬を軽く打ったその掌に感じた温かい愛情）の「出会い」で方向を決定したと書いておられます。その後松谷氏は神父が亡くなるまで献身的に神父を助けた一人であります。出会いによって方向が変わる、神秘な部分です。新しい年、出会う方々と「心の出会い」がありますように。わたしたちを見守ってくださる天の父からの恵みとともに歩むことができますように祈ります。

（慈生会理事長）

謹んで主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げ、皆様の上に豊かな恵みをお祈り致します。

社会福祉法人　慈生会
理事長　Sr・松本圭世
役職員一同

徳田保育園
中野トータルサポートセンター
ベタニアホーム・慈しみの家
ベタニア・デイ・ホーム（星）（月）
中野北ベタニア訪問看護ステーション
慈生会中野ケアプランセンター
ベタニアヘルパーステーション
中野区江古田地域包括支援センター
ナザレットの家
ベトレヘム学園
聖家族ホーム
聖ヨゼフ老人ホーム
慈生会清瀬ケアプランセンター
ベトレヘムの園病院
マ・メゾン光星
指定相談支援事業所 ノエル
学校法人　東星学園
（幼・小・中・高等学校）
理事長　Sr・田代嘉子
教職員一同
ベタニア修道女会
総　長　Sr・原田ケイ子
姉妹一同

新建物への思い

菅原　政則

社会福祉法人慈生会の施設であるナザレットの家（乳児院）とベトレヘム学園（児童養護施設）は、両施設とも建築して約四十年が経過しておりました。この間、先輩職員の方々の尽力により数多くの子供たちが社会に飛び立ち、現在その継手として今いる私たち職員が事業を継続できるのも、フロジャク神父の精神があるからこそと思い、感謝しております。今回のプロジェクトは乳児院と児童養護施設を併せ持った一棟の建物を計画し、東京都内でも稀なケースでの建物でした。基本計画から東京都と協議を幾度も重ね、地上三階建、一階が乳児院、二階・三階が児童養護施設となっており、一階には地域交流ホールを設け、地域住民の交流の場として開放し、また児童たちの遊び場としました。乳児院の居室部分はユニット型の六ユニットで構成され、システムキッチン、洗面所、浴室があります。児童養護施設もユニット型で、個室・二人部屋その他の構成で七ユニットで家庭的な居住空間をモチーフに計画を立てました。外観は廻りの施設に合わせた茶系並びに黄色系の瓦屋根を用いて、シンボルとしてはベトレヘム学園にある十字架を採用しました。

平成二十八年十一月に工事に着手しました。新築建物は十三か月の工期で、それ程余裕がある工期ではありませんでしたが、平成二十九年十一月末日に完成致しました。これまでの工事に関わった設計事務所並びに施工業者のご尽力により大きな事故もなく竣工を迎えることができ感謝しております。

まだ、既存建物の解体工事が残っておりますが、平成三十年三月末には完了し、プロジェクトが終了致します。

新築工事完了日　十一月三十日
引渡し日　十二月　一日
祝別・落成式　十二月　五日
解体工事完了日　三月末
祝別・落成式に大勢の方々にご出席いただき無事に式典を終えることができ、ありがとうございました。

これまで「ナザレットの家・ベトレヘム学園新築工事」に多大なるご寄付とご協力をたくさんの方々に頂き、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。今後、社会福祉事業を行っている当法人が全力で支え、ここに住む子供たちを守り、地域住民との交流を深め福祉事業に貢献していきたいと思います。

（本部事務局　管財課長）

ナザレットの家・ベトレヘム学園の設計・監理について

昭和設計　東京事務所
吉川　康彦

今から約三年前の平成二十六年十二月、設計プロポーザルで弊社が特定され、設計・監理に携わって参りました。

私たちは、「つながりの家―私の場所・みんなの場所―」というテーマのもと、〇歳から一八歳の子ども達の居場所となる「施設」ではなく、「家庭らしい空間」づくりを目指しました。外観は、フロジャック神父の故郷であるフランスアヴェロンの素朴な風景を継承しつつ、三角屋根が連なる住宅らしい表情をつくりました。建物は「中庭」を挟み、南側に居住ユニット、北側に管理諸室を配置することで、「中庭」を介してスタッフが子ども達をいつでも緩やかに見守ることができる計画としました。建物の内部は、木の素材をアクセントとして用い、温かみのあるインテリア計画としています。今後、子ども達やスタッフ、地域の皆様に愛される建物・そして居場所となることを祈っています。

祝別・落成式について

江間　公義

乳児院ナザレットの家・児童養護施設ベトレヘム学園が落成し、十二月五日（火）午前十時より祝別・落成式が、午後二時より落成記念式が、新建物の地域交流ホールにて行われ、両式典を合わせ約一〇〇名の方にご参集いただきました。

祝別式は、松本理事長の挨拶に続き、カトリック秋津教会主任司祭天本昭好神父様の司式により執り行われ、建物の祝別を行う際には、参列者の皆様も一緒に建物を巡覧していただきました。引き続き行われた落成式では、関事務局長より新建物落成までの経過報告があり、ご来賓の東京都福祉保健局少子高齢対策部育成支援課長　竹中雪与様よりご祝辞を賜りました。次いで松本理事長より、新建物建築に寄与された株式会社昭和設計様、株式会社熊谷組様に感謝状が贈呈され、両社を代表して株式会社熊谷組首都圏支店長　上田真様より謝辞を頂きました。

その後の祝賀会では、議会のお昼休みの合間で駆けつけてくださった清瀬市長　渋谷金太郎様よりご祝辞をいただきました。

午後の落成記念式は、都内の児童相談所関係、乳児院・児童養護施設関係者、第三者委員や地域関係者等にお集まりいただきました。櫻井常務理事の挨拶、関事務局長の経過報告に続き、二葉乳児院院長　都留和光様とれんげ学園統括学園長　佐々木晶堂様よりご祝辞をいただき、その後、参列の皆様に建物の内覧をしていただきました。

参列の方より「天気にも祝福されましたね」と言われるほど好天の中、たくさんの方々の見守りによりスタートするこの家で、これから子どもたちが幸せに成長できるよう願っております。

（本部事務局　総務課長）

㈱熊谷組　上田様

育成支援課長　竹中様

建物の祝別

祝別式

交流会

関事務局長の報告

落成記念式会場

清瀬市長　渋谷様

『HAPPY JAZZ TIME』

チャリティーコンサート実行委員
原田　直人

十二月十三日に練馬文化センターにて『ベタニアの家チャリティーコンサート』が行われました。チャリティーの目的は「ナザレットの家・ベトレヘム学園合築支援」ということで三年連続とはなりますが、それ故にいかにこの計画が大きなものだったかを示していると思います。

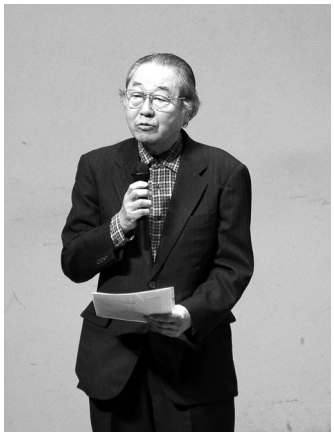
今回のコンサートは今までのクラシック路線から打って変わりJAZZのコンサートということで、皆さんの反応が些か心配でしたが、快く出演を引き受けてくださった鈴木直樹さんとスウィングエースの皆さんの演奏はもちろんのこと、ステキな演出と楽しいトークで、会場は大盛り上がりでした。それとソプラノサックスやバンジョー、ヴィブラフォンなどあまり身近ではない楽器の音色を楽しめたり、曲目もスタンダードなものから『与作』や『東京音頭』など、こんな曲がJAZZになるのかと思うものまでバラエティーに富んで、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

今回ご支援いただいた寄付金やチケット売上金は総額一七六万八六六〇円となりました。このコンサートのためにいろいろと協力してくださった皆様をはじめ、日ごろからそれぞれの施設を支援し、子どもたちを温かく見守ってくださっている多くの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

引っ越しを終えて新しい『家』で新年を迎えた子供たちは戸惑いながらも喜びのうちに過ごしていることとでしょう。子供たち一人ひとりの上に神様の豊かなお恵みがあり、健やかに成長していくことを願い祈ります。

（本部事務局）

実行委員長　越 英明



常務理事 櫻井正昭よりお礼の言葉

中野地区ふれあいバザー

生活相談員　池谷　恵子

「秋晴の候…」という十月に用いる時候の挨拶がありますが、今年の十月はこの時候の挨拶を使用できない位、雨の日続きでした。

もちろん、十月十五日も朝から雨…バザーは急遽ベタニアホーム施設内での開催となりました。

普段あまり顔を合わせることのない職員同士でしたが力を合わせて準備し、無事に午前十一時オープンすることができました。同日開催の徳田教会バザーや徳田保育園による徳田まつりに訪れた方々、ご利用者、ご家族様、地域の方々もご参加くださり大変にぎやかでした。またボランティアの方々の存在の大きさに大変感謝いたしました。

各店舗大盛況！何より地域の方々、教会関係者の方々、職員とのふれあいを感じられた貴重な一日でした。

（ケアハウス　慈しみの家）

清瀬地区ふれあいバザー

清瀬地区ふれあいバザー実行委員長　高野　優一

十一月三日、清瀬地区におきましてふれあいバザーを開催し大盛況を収めることができましたことをご報告いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。又、日頃よりたくさんの献品の提供と多数のボランティアの方々のご参加と応援、地域の方々のお力添えに依るものと各施設長を始め職員一同深く感謝申し上げます。

当日は天候にも恵まれる中、清瀬地区からは、聖家族・聖ヨゼフ老人ホーム、ベトレヘム学園、ベトレヘムの園病院、ベタニア修道女会が参加、那須地区からはマ・メゾン光星が参加をしました。又、例年恒例となっている、よさこいソーラン清瀬の方々による踊りも会場の注目を浴びていました。地域の方からは「いつも楽しみにしています」や「今年はバザーができないかもと心配していたから良かった」などの声をいただきました。

来年のバザーは、新しい児童養護施設と乳児院施設の合築工事終了後初のバザーとなります。これまで以上に活気溢れるバザーが開催できるよう、これからも地域の皆様やボランティアの皆様からのお力添えをいただきたいと思いますので宜しくお願いします。

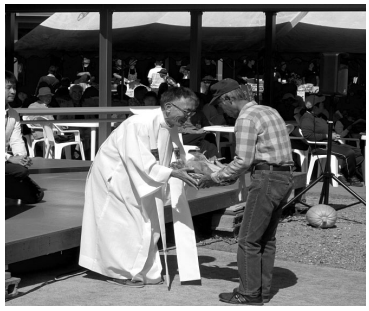
（聖ヨゼフ老人ホーム）

はじめの一歩（光星祭を終えて）

光星祭実行委員長　関口　雅也

光星祭とはマ・メゾン光星で毎年十月の第一週目に開催しているお祭りです。一年の収穫を神様に感謝し、集まった仲間と感謝の喜びを分かち合います。

今回の光星祭は「はじめの一歩」というテーマを立てました。このテーマには、今年でマ・メゾン光星の事業が、那須町に開所になってから五十三年の月日が経ち、来年四月に放課後等デイサービス事業所エスポワールの開所を控えることもあり、新たな一歩を踏み出す勢いのある光星祭にしたいという思いを込めました。



新たな取り組みとしては、地域との交流が以前からの課題でありましたが、あえて「夕狩り鍋」という名前を前面に出し、社協の協力を得ることで、夕狩り地区の方に那須地域の名物すいとん鍋を作って頂きました。地域の方の団結力は素晴らしく、お店には活気があふれ、いつのまにか長蛇の列ができていました。夕狩り鍋を笑顔でほおばるお客さん、早く食べたいと待ち遠しそうな利用者の顔がとても印象に残っています。地域と共にという福祉の大きな流れのなかでも、新たな一歩が踏み出せたと思います。

（マ・メゾン光星）

ベタニアの家

一月行事予定

1日☆神の母聖マリア
1日☆世界平和の日
1日《元日》
7日☆主の公現
8日☆主の洗礼
8日《成人の日》
9日　東星学園　始業日（幼・小・中高）
13日　聖家族ホーム　開設記念日
17日　慈生会理事会
28日☆世界こども助け合いの日

二月行事予定

3日☆福者　高山右近
11日☆ルルドの聖母
11日☆世界病者の日
11日《建国記念の日》
14日☆灰の水曜日
18日☆聖ベルナデッタ祝日
18日四旬節第一主日

三月行事予定

1日　東星学園・中高卒業式
3日《ひな祭り》
10日　東星学園　幼稚園卒園式
14日　慈生会理事会
14日　聖家族・聖ヨゼフホーム　慰霊祭・ミサ
15日　東星学園　小学校卒業式
17日　徳田保育園　卒園式
17日　ベタニアホーム　合同慰霊祭
19日☆聖ヨセフ
21日《春分の日》
22日　慈生会評議員会
25日☆受難の主日（枝の主日）
29日☆聖木曜日
30日☆聖金曜日
31日☆聖土曜日　復活徹夜祭

金祝

昨年十月十六日、聖女マルガリタ・マリア・アラコクの祝日に大倉神父様の司式により聖ベルナデッタ修道院聖堂で金祝のミサが行なわれ、今までの沢山の励まし、支え等を神様に感謝し、中野、清瀬、那須の姉妹が集い、楽しいひと時を過ごしました。これからも、私たちはフロジャク神父様を通して神様から託された「慈しみの愛」を生き広めていくために、新しい召命をと願っております。どうぞベタニア修道女会のために引き続きお祈りください。

感謝のうちに！

金祝者
シスター　マリアロザリー　吉田　久子
シスター　ルカ　中村　矯子
シスター　ゴレッティ　塩谷　和子
（ベタニア修道女会）

訃報

シスタージェノヴェファ　築島　メリ
一九二七年生
一九六〇年一月二日
二〇一七年九月十七日
歴
帰天
立願
誓願
生

シスターアデライダ　中村　濱子
一九二三年生
一九六七年一月三日
二〇一七年九月十七日
歴
帰天
立願
誓願
生

シスターユスチナ　江口　美智子
一九二六年生
一九五五年二月二日
二〇一七年十月十七日
歴
帰天
立願
誓願
生

シスターパウラ　山本　ミセ
一九一六年生
一九四〇年十五
二〇一七年十月十七日
歴
帰天
立願
誓願
生

編集後記

「ナザレットの家」が昨年十二月に清瀬に移転、それに伴い越編集委員が中野地区から離れたため、今年より編集委員に任命されました。慣れない役割で、ご迷惑をかけるのではと、心配ですが、自分なりに頑張りますのでよろしくお願いいたします。年の初めに皆様のご健康をお祈り申しあげます。（中村　英男）

この瑠璃草が皆さんの手元に届くころは、新年を迎えてそれぞれ「今年の抱負」を思い描きながらお過ごしになっていると思いますが、今の自分は昨夜のJAZZ（チャリティーコンサート）のメロディーが頭の中で渦を巻いています。乳児院と児童養護施設の合築という大きな事業がひと段落し、慈生会は次の目標に向かって歩み始めています。新しい年が慈生会に恵みの風を送ってくださいますように。（原田　直人）

昨年から今年の御心の月六月までベタニア修道女会は設立認可八十周年を祝っています。また、昨年は慈生会の子どもたちの家が新築されました。初期の社会状況とはだいぶ異なった時代となりましたが、いつも『貧しさ』からの呼びかけは絶えません。『ベタニアの家』が幼子イエスのまなざしに倣って、一人ひとりを見つめて応えていくために、きめ細やかな愛の心をと願い、行いにつながっていきますようにと祈ります。（Sr菊池　啓子）